

気候情報

2010年1月の日本の天候

- 東日本以西では前半低温、後半高温
- 日本海側では前半一時大雪
- 北日本で顕著な寡照、沖縄・奄美で顕著な多照

1月の天気概況

1月前半は冬型の気圧配置が続き、上旬は西日本中心に、その後は全国的に強い寒気が南下したため、日本海側では雪、太平洋側では東・西日本を中心に晴れの日が多かった。5日から6日にかけて低気圧が発達しながら本州付近を通過した影響で、北日本では大荒れの天気となり、太平洋側の一部で大雪となった。また、日本海側では東・西日本中心に中旬前半にかけて降雪量が多くなり、新潟県の十日町では2006年以来4年ぶりに積雪が3メートルを超えた。中旬後半は移動性高気圧に覆われ全国的に晴れ、気温も平年を上回った。下旬は数日の周期で低気圧が通過し、その後は北日本を中心とした冬型の気圧配置となった。このため、北・東日本日本海側で曇りや雪または雨が多く、北・東日本太平洋側や西日本では21日頃と28日頃および月末に低気圧の影響で天気が崩れたほかは概ね晴れた。沖縄・奄美では寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、中旬後半に高気圧に覆われ晴れの日が続いたことから、月間日照時間はかなり多かった。

上旬：3日頃にかけて冬型の気圧配置が続き、日本海側では曇りや雪、太平洋側では概ね晴れた。4日は高気圧に覆われ、東日本や西日本の日本海側でも晴れたが、5日に低気圧が発達しながら本州付近を通過し、東・北日本で天気が崩れ、6日にかけて北日本では大荒れの天気となり、太平洋側の一部で大雪となった。その後は冬型の気圧配置が続き、日本海側では曇りや雪、太平洋側では概ね晴れた。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：期間の初めは日本付近を低気圧や前線が通過し、太平洋側中心に天気が崩れた。その後は16日頃にかけて冬型の気圧配置となり、日本海側では曇りや雪、太平洋側では概ね晴れた。特に13日頃から15日頃にかけては、北陸地方を中心に大雪となった。17日頃から19日頃にかけては移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れた。20日は気圧の谷の接近で、北日本や西日本で天気が崩れた。沖縄・奄美では14日頃までは前線や寒気の影響で曇りや雨となったが、その後は高気圧に覆われ、晴れの日が続いた。

下旬：数日の周期で日本付近を低気圧が通り、その後は北日本を中心とした冬型の気圧配置となった。このため、北・東日本日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、北・東日本太平洋側や西日本では21日頃と

28日頃および月末に天気が崩れたほかは概ね晴れた。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

1月の気候統計

月平均気温：北日本と東日本で高く、特に北海道では平年を2℃以上上回る場所があった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。なお、東日本以西では、前半と後半の寒暖の差が大きかった。

月降水量：北日本から東日本にかけての日本海側が多かった。一方、東日本太平洋側、西日本、および沖縄・奄美では少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：北日本でかなり少なく、平年の60%未満となる場所があった。一方、沖縄・奄美ではかなり多く、東日本太平洋側と西日本では多かった。東日本日本海側では平年並だった。

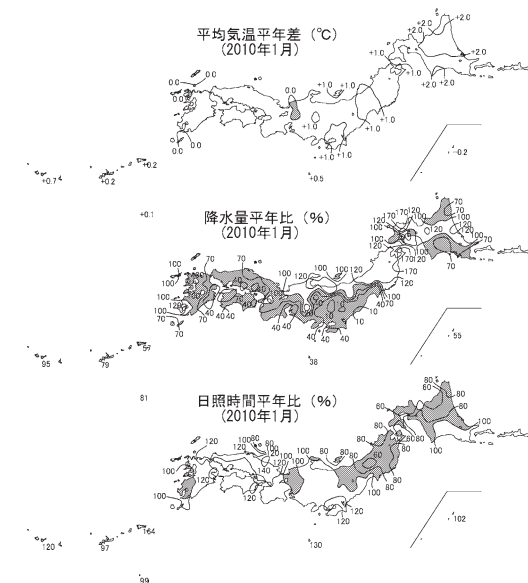
降雪・積雪：降雪の深さ月合計は、北日本日本海側から中国地方山陰にかけて少なかった。月最深積雪は、北日本から東日本にかけての日本海側で平年を上回る場所が多かった。

(気象庁観測部統計室)

1月の記録(1位更新のみ)

- ・月間日照時間少ない方から(時間)
むつ 39.6
- ・降雪の深さ月合計多い方から(cm)
室蘭 89 函館 158

2010年1月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。